



2011年2月8日

2010年12月期 決算概況(連結)

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠 広報部 TEL (03)5579-1150
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 2010年12月期の連結業績(2010年1月1日～2010年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2010年12月期	1,742,373	12.4	106,727	27.8	100,839	23.2
2009年12月期	1,550,719	2.5	83,544	2.8	81,822	3.3

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%
2010年12月期	40,027	22.5	58	25	58	23	9.4	6.3
2009年12月期	32,666	1.9	47	54	47	54	7.9	5.4

(参考) 持分法投資損益 2010年12月期 707百万円 2009年12月期 224百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年12月期	1,568,296	446,978	26.9	613 97
2009年12月期	1,628,280	455,638	26.3	623 96

(参考) 自己資本 2010年12月期 421,879百万円 2009年12月期 428,747百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2010年12月期	139,449	△ 28,200	△ 60,661	159,044
2009年12月期	102,738	△ 388,903	243,629	112,656

2. 配当の状況

	年間	配当金総額(年間)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	円 銭	百万円	%	%
2010年12月期	9 00	6,184	15.4	1.5
2009年12月期	7 00	4,809	14.7	1.2

3. 2011年12月期の連結業績予想(2011年1月1日～2011年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,806,000 3.7	117,000 9.6	110,000 9.1	48,000 19.9	69 86

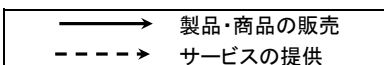
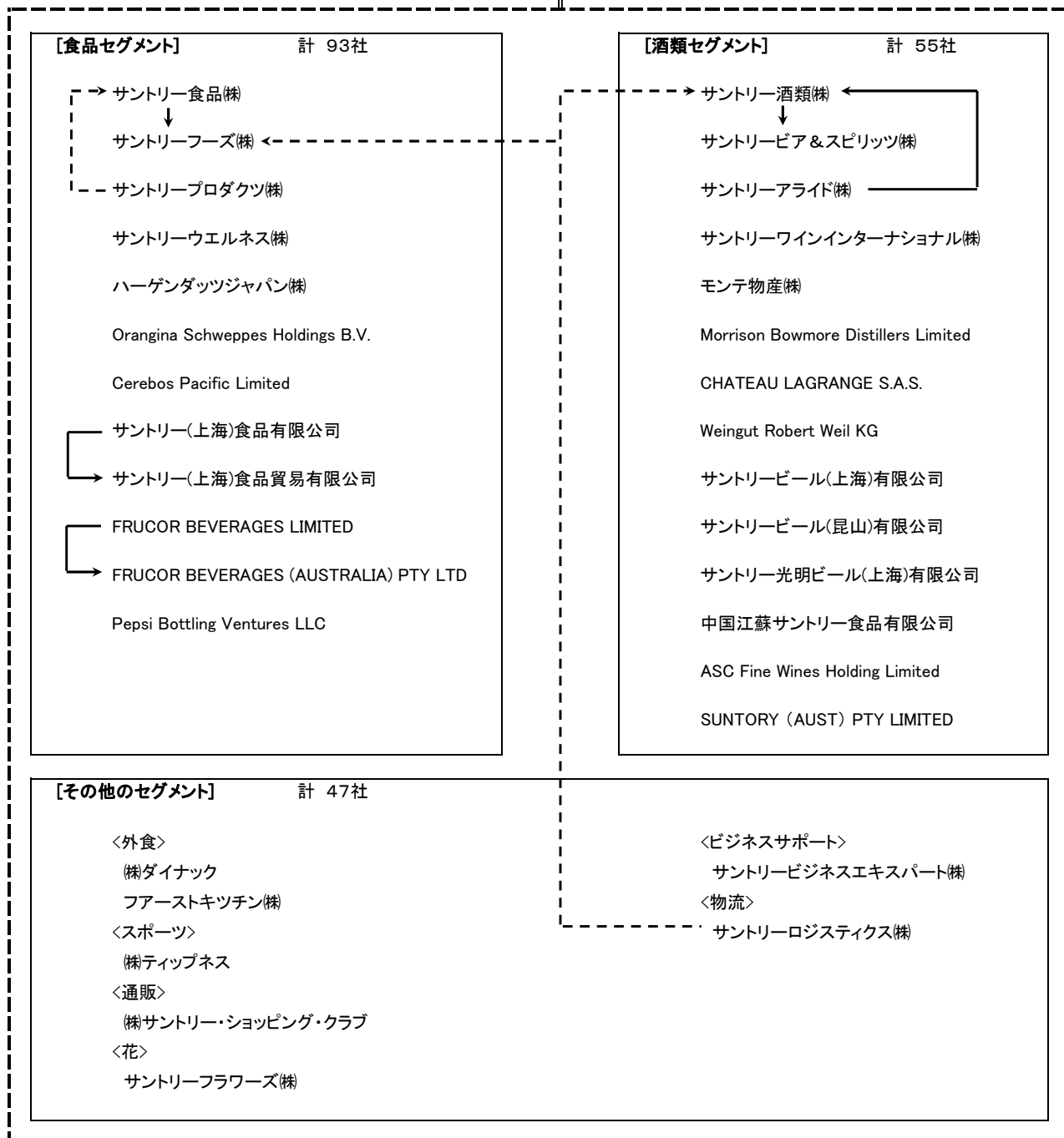
事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社170社および関連会社25社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産(株)

サントリーホールディングス(株)(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理



- (注) 1. サントリービジネスエキスパート(株)は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
 2. ※は親会社です。
 3. 無印は連結子会社です。
 4. サントリー食品(株)は、2011年1月1日付でサントリー食品インターナショナル(株)に商号変更しています。

経営成績

1.当連結会計期間の概況

当連結会計期間のわが国の経済は、景気回復の兆しが一部見られるものの、厳しい雇用情勢などから個人消費回復の足取りは緩やかで、依然先行き不透明な状況が続いています。国内外の清涼飲料・酒類市場においても、引き続き、競合激化により厳しい環境となりました。

こうした状況の中、サントリーグループは、“グローバル総合酒類食品企業”を目指し、食品・酒類事業を核に、国内外で多岐にわたる事業を積極的に展開しました。

2010年12月期の業績は、主力商品である「BOSS」「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「角瓶」などの好調により既存事業が伸長したことで、増収増益を果たしました。さらに、新規連結会社の業績が加わり、売上高は1兆7,424億円(前年同期比112.4%)、営業利益は1,067億円(前年同期比127.8%)、経常利益は1,008億円(前年同期比123.2%)、当期純利益は400億円(前年同期比122.5%)といずれも過去最高を更新しました。さらなる成長と企業価値の最大化を目指し2009年に実施した純粋持株会社制が着実に成果をあげています。

〈食品セグメント〉

サントリー食品(株)は、清涼飲料総市場が前年同期比102%と推定される中、前年同期比106%(3億7,470万ケース)となり、1993年以来18年連続で前年同期を上回りました。

「BOSS」は、「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」の主要4アイテムに加え、「シルキーブラック」や新商品が好調で、4年連続で過去最高を更新する7,590万ケース(前年同期比106%)の販売となりました。「サントリー ウーロン茶」は、リニューアル後の好調な販売に加え、新商品「プレミアムクリア」の投入により前年同期比104%となりました。「サントリー天然水」は、品質へのこだわりが高く評価され前年同期比107%と好調を維持しました。また、「ニチレイ アセロラ」シリーズが当初計画の2倍を超える600万ケースの販売となり、「なっちゃん」「C. C. レモン」も前年同期比約2割増と大幅に伸長しました。

海外飲料事業は、欧州を中心に強い基盤を持つOrangina Schweppes Groupが新たに加わることで飛躍的に拡大しました。同社は、主要ブランド「オレンジーナ」^{オレンジーナ シュウエップス}「オアシス」などの販売が好調に推移しました。オセアニア地域で清涼飲料を製造・販売するFruco^{フルコア} Groupは、主力のエナジードリンク「V」の販売が好調で前年同期を上回る売上となりました。東南アジアを中心に健康食品事業を手がけるCerebos Pacific Limited^{セレボス パシフィック}、ペプシブランドの全米第2位のボトラーであるPepsi Bottling Ventures LLC^{ペプシ ボトリング ベンチャーズ}も順調な売上となりました。さらに中国飲料事業では、「三得利烏龍茶」^{サントリー リッチ}が好調な販売となりました。

サントリーウエルネス(株)は、主力の「セサミンEプラス」「DHA&EPA+セサミンE」「グルコサミン&コンドロイチン」「黒酢にんにく」などが引き続き好調で、売上は前年同期比113%と伸長しました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、ミニカップ「クッキー&グリーンティー」「パンプキン」などの新商品に加え、発売10年を迎え全面リニューアルした「クリスピーサンド」がお客様からご好評をいただきました。

以上の結果、食品セグメントの売上高は、1兆404億円(前年同期比120.8%)となりました。

〈酒類セグメント〉

サントリー酒類(株)は、国内外の酒類市場において、付加価値の訴求やマーケティング活動を継続強化することで需要の拡大を図りました。

ビール事業は、6,110万ケース^{※1}(前年同期比105.2%)となりました。うちビール類の販売数量は、5,883万ケース(前年同期比101.9%)となりました。「ザ・プレミアム・モルツ」は、マーケティング活動をさらに強化し、7年連続で過去最高となる1,450万ケース(前年同期比114.5%)の販売を達成しました。新ジャンル商品「金麦」も、2,099万ケース(前年同期比124.7%)と大幅な伸長となりました。また、8月に発売したノンアルコールビールテイスト飲料「オールフリー」は、販売計画の2倍にあたる200万ケースを上回り、新たな市場の拡大に寄与しました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料を含む

スピリッツ事業は、新しい価値をもった商品の投入や付加価値の提案を行った結果、ウイスキー、RTD分野が大きく伸長し、前年同期比104%となりました。

ウイスキーは、ウイスキーのソーダ割り“ハイボール”のさらなる飲用拡大と定着化に注力し、前年同期比117%と大きく伸長しました。ご好評をいただいている「角瓶」「角ハイボール缶」に加え、当期は「トリス〈エクストラ〉」「トリスハイボール缶」を発売するとともに、料飲店向けのハイボールの品質訴求活動などを行った結果、新たに幅広いユーザーを獲得しました。プレミアムウイスキーは、酒類コンペティションで評価の高い「響」「山崎」「白州」が国内外で好調に推移しました。特に海外では、欧米を中心に人気が高まり前年同期比3割強伸長しました。また複数の世界的なコンペティションで「ディスティラー オブ ザ イヤー」をはじめとした各賞を受賞したことにより、ジャパニーズウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDは、新たな付加価値をもった新商品の投入により、3,642万ケース(前年同期比120%)と大幅に伸長しました。「-196℃」は、「-196℃ ストロングゼロ」が好調で、ブランド計で1,516万ケース(前年同期比104%)の販売となりました。「ほろよい」は、〈白いサワー〉〈ぶどうサワー〉が好調で、613万ケース(前年同期比217%)となりました。また、1月にリニューアルし、1缶あたり77kcalを実現したチューハイ「カロリー。」は、719万ケース(前年同期比103%)となりました。さらに、「角ハイボール缶」「トリスハイボール缶」も計画を大幅に上回りました。

焼酎は、甲乙混和焼酎が好調で、「むぎのか」が前年同期比109%、「はないも」が前年同期比135%と伸長しました。甲類焼酎では、キャンペーンやTVCMを通じて「鏡月」ブランドの“アセロラ割り”を訴求しました。

リキュールは、若者や女性をターゲットに“家飲み”スタイルを提案する「おうちカクテル」キャンペーンを継続するなど、リキュール市場活性化に向けた取り組みを行いました。また、低カロリー梅酒「梅酒にしませんか。」は前年同期比118%と好調に推移しました。

海外酒類事業では、モリソン ボウモアMorrison Bowmore Distillers Limitedの主力ブランド「ボウモア」「オーヘントツシャン」が好調に推移しました。中国では、「純生」などビールの販売数量が伸長したほか、新たに加わった中国最大規模のワイン輸入販売会社 ASC Fine Wines Holding Limited が好調で、中国酒類事業拡大に寄与しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業は、前年同期比108%の販売数量となりました。国産ワインでは、国産ぶどう100%ワインを“日本ワイン”と位置づけ「ジャパンプレミアム」シリーズと「登美の丘ワイナリー」シリーズを発売しました。フランスの名門シャトーを所有するLes Domaines Barons de Rothschildと共同開発した国産ぶどう100%の特別醸造ワイン「ドメーヌ バロン ド ロートシルトCENTURY」が発売後3日間で完売するなど、高い評価をいただきました。また「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」「デリカメゾン デリシャス」が好調に推移し、国産ワイン計で前年同期比2割強増となりました。輸入ワインは、ラインナップを強化したカリフォルニアワイン「カルロ ロッシ」、コストパフォーマンスの高いチリワイン「ビニャマイポ」が好調に推移しました。

以上の結果、酒類セグメントの売上高は、5,760億円(前年同期比103.3%)となりました。

〈その他セグメント〉

外食事業は、総市場が前年同期並と推定される中、(株)プロントコーポレーション、ファーストキッチン(株)などが前年を上回る好調な売上となりました。また、フィットネス事業を展開する(株)ティップネスも順調に推移しました。サントリーフラワーズ(株)は、“不可能の代名詞”とも言われた世界初^{※2}の青いバラ「SUNTORY blue rose APPLAUSE」の販売エリアを11月から拡大しました。環境緑化事業を展開するサントリーミドリエ(株)は、壁面緑化システムが高く評価され大きく伸長しました。

※2 花卉にほぼ100%青色色素を含む

以上の結果、その他セグメントの売上高は、1,260億円(前年同期比95.5%)となりました。

なお、国内売上高は1兆3,891億円(前年同期比103.9%)、海外売上高は3,533億円(前年同期比165.3%)となりました。

当社は、『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しました。水源涵養活動においては引き続き強化を図り、サントリー「天然水の森」は約5,200haにまで拡大しました。また、業界に先駆けて“環境負荷低減”と“使いやすさ”の両立を追求した2Lペットボトルを「サントリー天然水」ブランドに導入するなど、容器包装の新開発にも積極的に取り組んできました。生産、物流、販売活動においてもCO₂排出量の削減を推進しました。

2.次期の見通し

引き続き、国内外市場における競合は一層激化するものと予測されますが、当社は“グローバル総合酒類食品企業”としてグループ内各社のシナジー創出を図り、国内、海外でのさらなる成長を目指します。なお、サントリー食品(株)、中国事業は、それぞれ組織体制の強化を図り、サントリー食品インターナショナル(株)、サントリー(中国)ホールディングス有限公司として1月からスタートしました。

サントリー食品インターナショナル(株)の国内飲料事業は、「戦略ブランドのさらなる強化」と「新たな領域での需要創出」を推進していきます。「BOSS」は主力4アイテムに加え、新商品による需要喚起を図ります。「サントリー ウーロン茶」は、発売30周年を迎えるにあたり年間を通じて積極的なマーケティング活動を展開します。「サントリー天然水」は、飲用後に小さくたためる「P-ecot(ペコット)ボトル」を採用した550mlペットボトルを新発売します。「伊右衛門」「PEPSI」についても、ブランド力強化を図ります。また、新商品の積極的な投入をはじめ新規分野の開拓などにより、新たな需要を創出していきます。

海外飲料事業は、「各国でのコアブランドのさらなる強化」と「グループ間交流によるシナジーの創出」を推進していきます。Fruco^{フルコア} Groupは、ニュージーランドにおけるエナジードリンク「V」の^{オレンジーナ}カテゴリーNo.1のポジションを強化し、また販売エリアをスペインにも広げます。Orangina^{シュウエップス} Schweppes Groupは、主力の「オレンジーナ」「オアシス」などの強化に注力します。特に「オレンジーナ」については日本での発売を計画しています。Cerebos Pacific Limited、Pepsi Bottling^{セレボス パシフィック} Ventures LLCなどでも積極的なマーケティング活動を実施していきます。

サントリー(中国)ホールディングス有限公司の飲料事業は、「三得利烏龍茶」「^{リッチ}利趣」の2大ブランドを引き続き強化していきます。

サントリー酒類(株)は、市場環境の変化に対応すべく、既存商品の育成・強化に加え、新しい価値提案にも積極的に取り組みます。

ビール事業は、伸長するプレミアムビール、新ジャンル、ノンアルコールビールテイスト飲料の各市場に注力します。重点ブランド「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「オールフリー」に加え、新「ジョッキ生」「絹の贅沢」のマーケティング活動を積極的に展開していきます。

スピリッツ事業は、“ハイボール”市場の活性化、RTD・梅酒などの既存ブランドの育成・強化に取り組みむことで、さらなる拡大を目指します。

ウイスキーは、“ハイボール”の多様な味わい方、楽しみ方の提案による“ハイボール”市場のさらなる拡大と、プレミアムウイスキー・輸入ウイスキーの価値訴求型コミュニケーションによるブランド力強化を図ります。RTDは、「-196°C」「カロリー。」「ほろよい」に加え、ハイボール缶など各カテゴリーにおいて柱となるブランドを育成・強化するとともに新商品の投入により、さらなる新規需要獲得を目指します。焼酎は、甲乙混和焼酎「むぎのか」「はないも」、甲類焼酎「鏡月」に注力し、さらなるブランド力向上を図ります。リキュールは、ソーダ割にレモンやライムを加えマドラーなどで潰して楽しむ「リッキー」スタイルを提案し、市場の活性化を図ります。梅酒は、紙パック梅酒のさらなるブランド価値向上を促進するほか、新たな付加価値商品を発売するなど、積極的なマーケティング活動を展開していきます。

海外では、リキュール「ミドリ」、シングルモルトウイスキー「ボウモア」「オーヘントツシャン」などのグローバルな展開をさらに推進していきます。

サントリーワインインターナショナル(株)は、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”の活動強化とともに、輸入ワイン「フレシネ」「カルロ ロッシ」「ビニャマイポ」のブランド力強化を図ります。

サントリー(中国)ホールディングス有限公司の酒類事業は、ビールにおいて基幹ブランドの「超純」に加え「純生」を中心とした高品質・高付加価値商品に注力するとともに、洋酒・ワインの販売も強化していきます。

これらの活動により、事業セグメント別の売上高は、食品1兆793億円(前年同期比103.7%)、酒類6,007億円(前年同期比104.3%)、その他1,260億円(前年同期比100.0%)を予定しています。

以上を総合して、2011年12月期の売上高は、1兆8,060億円(前年同期比103.7%)、営業利益1,170億円(前年同期比109.6%)、経常利益1,100億円(前年同期比109.1%)、当期純利益480億円(前年同期比119.9%)といずれも過去最高を予定しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2009年12月31日現在)		当連結会計年度 (2010年12月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(資 産 の 部)		%		%	
I 流動資産	585,581	36.0	617,792	39.4	32,211
現金及び預金	142,725		133,822		△8,903
受取手形及び売掛金	220,614		240,015		19,400
商品及び製品	129,204		125,292		△3,911
仕 掛 品	10,861		11,237		375
原材料及び貯蔵品	21,675		21,058		△617
繰延税金資産	20,754		20,420		△333
そ の 他	41,696		66,907		25,211
貸倒引当金	△1,950		△960		990
II 固定資産	1,041,691	64.0	949,673	60.6	△92,017
1. 有形固定資産	388,708	23.9	379,225	24.2	△9,482
建物及び構築物	131,068		126,873		△4,195
機械装置及び運搬具	88,864		90,245		1,381
工具、器具及び備品	52,219		57,347		5,128
土 地	85,649		82,742		△2,906
建設仮勘定	17,071		4,779		△12,292
そ の 他	13,834		17,236		3,402
2. 無形固定資産	456,399	28.0	384,288	24.5	△72,110
の れ ん	441,768		369,268		△72,499
そ の 他	14,631		15,019		388
3. 投資その他の資産	196,584	12.1	186,160	11.9	△10,424
投資有価証券	99,899		98,272		△1,627
そ の 他	100,897		92,486		△8,411
貸倒引当金	△4,212		△4,598		△386
III 繰延資産	1,006	0.0	829	0.0	△177
資 産 合 計	1,628,280	100.0	1,568,296	100.0	△59,984

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	631,946	631,180	△766
-------------------	---------	---------	------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2009年12月31日現在)		当連結会計年度 (2010年12月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(負 債 の 部)		%		%	
I 流動負債	554,750	34.1	538,937	34.4	△15,813
支払手形及び買掛金	127,444		82,418		△45,025
電子記録債務	—		89,803		89,803
短期借入金	101,464		101,907		442
1年内償還予定の社債	39,701		1,638		△38,062
未払酒税	40,820		42,688		1,868
未払消費税等	10,156		8,049		△2,107
未払法人税等	23,220		17,989		△5,230
未払金	93,135		85,090		△8,045
未払費用	67,906		53,722		△14,183
賞与引当金	8,005		8,797		792
その他	42,894		46,829		3,935
II 固定負債	617,890	37.9	582,380	37.1	△35,510
社債	178,327		209,750		31,422
長期借入金	326,572		262,679		△63,893
退職給付引当金	10,192		10,469		277
役員退職慰労引当金	783		727		△56
繰延税金負債	46,839		42,534		△4,304
その他	55,175		56,218		1,043
負債合計	1,172,641	72.0	1,121,317	71.5	△51,324
(純 資 産 の 部)					
I 株主資本	427,718	26.3	462,936	29.5	35,217
資本金	70,000		70,000		—
利益剰余金	357,718		392,936		35,217
II 評価・換算差額等	1,028	0.1	△41,057	△2.6	△42,085
その他有価証券評価差額金	11,368		10,158		△1,209
繰延ヘッジ損益	△679		△853		△173
為替換算調整勘定	△9,659		△50,362		△40,702
III 新株予約権	23	0.0	38	0.0	14
IV 少数株主持分	26,867	1.6	25,060	1.6	△1,806
純資産合計	455,638	28.0	446,978	28.5	△8,659
負債純資産合計	1,628,280	100.0	1,568,296	100.0	△59,984

連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度		当連結会計年度		増 減
	〔 自 2009年 1月 1日 至 2009年12月31日 〕		〔 自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日 〕		金 額
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額
I 売 上 高	1,550,719	100.0	1,742,373	100.0	191,653
II 売 上 原 価	807,418	52.1	874,794	50.2	67,375
売 上 総 利 益	743,301	47.9	867,579	49.8	124,277
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	659,757	42.5	760,851	43.7	101,094
販 売 促 進 費 及 び 手 数 料	310,892		340,966		30,074
広 告 宣 伝 費	51,417		73,843		22,426
運 搬 費 及 び 保 管 費	49,743		60,884		11,141
労 務 費	122,522		137,181		14,659
減 価 償 却 費	20,710		24,143		3,433
そ の 他	104,471		123,831		19,360
営 業 利 益	83,544	5.4	106,727	6.1	23,183
IV 営 業 外 収 益	6,262	0.4	4,269	0.3	△1,992
受 取 利 息	1,815		857		△957
受 取 配 当 金	1,488		1,694		206
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	—		707		707
雑 収 入	2,958		1,009		△1,949
V 営 業 外 費 用	7,983	0.5	10,157	0.6	2,173
支 払 利 息	6,139		8,813		2,674
雑 支 出	1,844		1,343		△500
経 常 利 益	81,822	5.3	100,839	5.8	19,017
VI 特 別 利 益	1,634	0.1	2,500	0.1	865
固 定 資 産 売 却 益	857		309		△547
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		1,025		1,025
固 定 資 産 受 贈 益	—		664		664
そ の 他	777		500		△276
VII 特 別 損 失	15,210	1.0	16,630	0.9	1,419
固 定 資 産 廃 棄 損	4,283		4,133		△150
減 損 損 失	5,100		5,151		51
組 織 再 編 関 連 費 用	2,867		1,764		△1,102
関 係 会 社 整 理 損	—		3,584		3,584
そ の 他	2,960		1,996		△963
税金等調整前当期純利益	68,246	4.4	86,709	5.0	18,462
法人税、住民税及び事業税	31,338	2.0	35,694	2.1	4,355
法人税等調整額	△1,680	△0.1	4,211	0.2	5,892
少数株主利益	5,922	0.4	6,775	0.4	853
当期純利益	32,666	2.1	40,027	2.3	7,361

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		〔 自 2009年 1月 1日 至 2009年12月31日 〕	〔 自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日 〕
		金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		68,246	86,709
減価償却費		39,623	45,068
のれん償却額		5,847	21,780
受取利息及び受取配当金		△3,304	△2,552
支払利息		6,139	8,813
減損損失		5,100	5,151
有価証券等の評価損益及び売却損益(△は益)		510	△581
固定資産廃棄損		4,283	4,133
固定資産売却損益(△は益)		△857	△309
売上債権の増減額(△は増加)		△2,875	△22,738
たな卸資産の増減額(△は増加)		1,834	2,365
仕入債務の増減額(△は減少)		△4,260	9,766
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)		3,868	42
その他		5,747	31,659
小計		129,902	189,309
利息及び配当金の受取額		3,662	3,261
利息の支払額		△5,557	△8,847
法人税等の支払額		△25,269	△44,274
営業活動によるキャッシュ・フロー		102,738	139,449
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		△30,050	△254
定期預金の払戻による収入		—	30,050
有価証券の売却及び償還による収入		446	588
短期貸付金の増減額(△は増加)		312	△16
有形及び無形固定資産の取得による支出		△56,605	△55,097
有形及び無形固定資産の売却による収入		2,373	572
投資有価証券の取得による支出		△1,106	△3,780
投資有価証券の売却及び償還による収入		1,170	2,421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		△302,303	△3,513
事業譲受による支出		△3,604	—
その他		465	828
投資活動によるキャッシュ・フロー		△388,903	△28,200
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)		55,515	△46,399
長期借入れによる収入		234,277	15,712
長期借入金の返済による支出		△163,551	△13,463
長期預け金の減少額		650	1,037
社債の発行による収入		146,437	34,874
社債の償還による支出		△20,290	△39,183
リース債務の返済による支出		△849	△1,916
配当金の支払額		△4,122	△4,809
少数株主への配当金の支払額		△4,431	△6,711
その他		△7	198
財務活動によるキャッシュ・フロー		243,629	△60,661
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,235	△4,199
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△43,771	46,388
VI 現金及び現金同等物の期首残高		156,181	112,656
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		246	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		112,656	159,044

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度(自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,040,428	575,972	125,972	1,742,373	—	1,742,373
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	322	22	41,178	41,523	(41,523)	—
計	1,040,751	575,994	167,150	1,783,896	(41,523)	1,742,373
営業費用	938,594	550,457	161,095	1,650,146	(14,501)	1,635,645
営業利益	102,157	25,537	6,054	133,749	(27,022)	106,727
II 減価償却費及び資本的支出						
減価償却費	30,543	9,004	3,798	43,346	1,722	45,068
資本的支出	43,282	8,233	5,668	57,183	895	58,079

前連結会計年度(自 2009年 1月 1日 至 2009年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	861,064	557,703	131,951	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	426	234	42,406	43,067	(43,067)	—
計	861,491	557,937	174,357	1,593,787	(43,067)	1,550,719
営業費用	777,271	537,864	170,087	1,485,223	(18,048)	1,467,175
営業利益	84,219	20,073	4,270	108,563	(25,018)	83,544
II 減価償却費及び資本的支出						
減価償却費	25,403	8,730	3,912	38,046	1,576	39,623
資本的支出	46,026	10,340	8,097	64,463	757	65,220

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しています。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品等
食品	清涼飲料、健康飲料、健康食品、加工食品 他
酒類	ビール類、洋酒、焼酎、RTD、ワイン 他
その他	外食、スポーツ、花苗 他

3. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生するグループ管理費用で、金額は次のとおりです。

当連結会計年度	27,022 百万円
前連結会計年度	25,018 百万円

2. 所在地別セグメント情報

当連結会計年度(自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	欧州	アジア・オセアニア	米州	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,389,478	135,638	145,317	71,937	1,742,373	—	1,742,373
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,287	2,320	1,197	254	5,060	(5,060)	—
計	1,390,766	137,958	146,515	72,192	1,747,433	(5,060)	1,742,373
営業費用	1,286,272	125,477	136,612	65,382	1,613,745	21,900	1,635,645
営業利益	104,493	12,481	9,903	6,809	133,687	(26,960)	106,727

前連結会計年度(自 2009年 1月 1日 至 2009年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	欧州	アジア・オセアニア	米州	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,337,183	11,390	131,875	70,270	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,284	2,425	1,170	331	5,212	(5,212)	—
計	1,338,468	13,816	133,045	70,601	1,555,932	(5,212)	1,550,719
営業費用	1,246,074	12,569	125,062	63,636	1,447,342	19,833	1,467,175
営業利益	92,394	1,247	7,982	6,965	108,589	(25,045)	83,544

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州…ヨーロッパ諸国

(2) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国

(3) 米州…北米及び中南米諸国

3. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生する

グループ管理費用で、金額は次のとおりです。

当連結会計年度 27,022 百万円

前連結会計年度 25,018 百万円

3. 海外売上高

当連結会計年度(自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日)

(単位:百万円)

	欧 州	ア ジ ア・ オ セ ア ニ ア	米 州	計
I 海外売上高	135,946	145,378	71,945	353,271
II 連結売上高				1,742,373
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.8%	8.4%	4.1%	20.3%

前連結会計年度(自 2009年 1月 1日 至 2009年12月31日)

(単位:百万円)

	欧 州	ア ジ ア・ オ セ ア ニ ア	米 州	計
I 海外売上高	11,437	132,009	70,273	213,721
II 連結売上高				1,550,719
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	0.8%	8.5%	4.5%	13.8%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州…ヨーロッパ諸国

(2) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国

(3) 米州…北米及び中南米諸国